

# ケーブルトラフ 直線用

図 1 本体の形状、寸法及び配筋  
(例 呼び名200B、L=500)

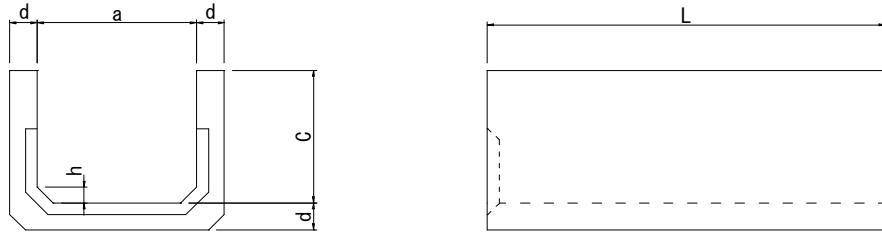
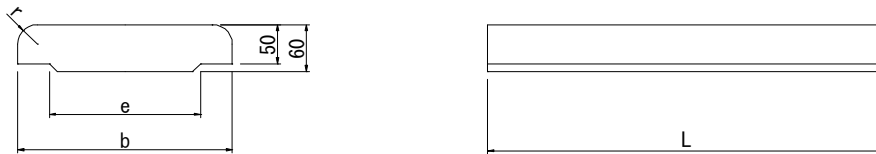


図 2 ふたの形状、寸法及び配筋  
(例 呼び名200B、L=500)



## 作図 1 直線用

種類	呼び名	a(2)	b	c	d	e	f	g	h	i		r	重量(kg)		
										本体	ふた		本体	蓋	組
直線用	70	70	120	75	25	65	40	30	15	500	500	15	8	5	13
	70	70	120	75	25	65	40	30	15	1000		15	16	5(×2)	26
	120	120	170	75	25	115	60	50	20	500	25	25	9	12	21
	150A	150	210	90	30	145							14	15	29
	150B			120	15	15	30								
	200A	200	270	90	35	190	19	19	38						
	200B			170			25	19	44						
	200C			250			33	19	52						
	250	250	330	170	40	240	25	25	25	33	23	56			
	300	300	390		45	290				38	26	64			
	400	400	510	215	55	390	25	25	25	61	34	95			

- 注 (2) 上口寸法aは、下口に向かい寸法Cに対して片側3%以内のテーパを付けることができる。  
 (3) 鉄筋の径6mmの代わりに、JIS G3112 (鉄筋コンクリート用棒鋼)に規定された呼び名D6を使用してもよい。  
 (4) ふたの鉄筋は一重とし、縦鉄筋の数を変更することができる。  
 (5) 呼び名70の本体の長さは500mmとすることができる。この場合、横鉄筋の数を5本とし、破壊荷重は、250kgf(2.45kN)とする